



2026年1月14日  
第126号

# JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一

編集 情宣 担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



## 申13号「2026年3月ダイヤ改正」等に関する申し入れ **横浜支社へ提出!**

横浜地本は2025年12月25日、会社より「2026年3月ダイヤ改正、横浜線および京浜東北・根岸線ワンマン運転実施並びに乗務員による分割・併合作業の拡大に伴う業務委託の解消について」の提案を受けました。

今ダイヤ改正の特徴として、列車ダイヤにおいては、特急「湘南」の増発や、南武線の表定時分・折返し時分の見直し、横浜線と根岸線の直通運転拡大が行われるとされています。同時に、運賃改定も実施していくとされています。また、横浜線および根岸線直通列車のワンマン運転の実施や、乗務員による駅での車内貫通作業の拡大、熱海駅での本線乗務員による分割併合作業の対象列車拡大についても行うとされており、安全かつ不安なく業務が遂行できるよう教育・訓練を実施し、環境を整える必要があります。

この間、横浜地本－横浜支社間において、各職場で検証したダイヤ改正後の問題点や改善策について労使議論を行い、認識一致を図ってきました。ダイヤ改正は労働条件の変化点として特に重要であり、「安全・健康・ゆとり」ある労働環境が実現されなければなりません。

よって、横浜地本は1月13日、横浜支社に申し入れし、今後団体交渉を行っていきます。

### 申し入れ項目

1. 南武線の慢性的な遅延について、今ダイヤ改正により、どの程度改善が図られる見通しなのか明らかにすること。
2. 乗務行路の作成にあたっては、一般線区であっても稠密線区に準じた作成を行うこと。
3. 各職場に休日カット行路が発生することから、休日の「行路数及び乗務キロの比較(箇所別)」を示すこと。
4. 熱海駅における本線運転士による分割併合作業について、昨年度のダイヤ改正以降での課題を示し、今ダイヤ改正でどのように反映させるのか示すこと。
5. 現場からの「停車時分」「駅間運転時分」「折返し時分」「始発駅における運転士によるドア扱い・案内設定に要する時分」が足りないという声に基づき、列車ダイヤと作業時分の設定においては、お客さまのご利用状況だけでなく、駅や乗務員の作業の実態を踏まえた時分を設定すること。
6. 行路選択制または交番組固定を利用する乗務員について、ダイヤ改正をまたぐ月の仮勤務が早期に示せるようにすること。
7. ダイヤ改正に関わる設備改修および営業制度の変更に関して、関係する社員に対する周知・教育・訓練は、ダイヤ改正前までに完了すること。

**変化点を改善につなげるために団体交渉を進めます!**